

静岡県教育委員会教育長賞 家族の一員 が成の一員

二ヶ月の頃、 望的な気持ちにさせられたのは今年の春でした。むぎとは、 でした。 われました。私は大丈夫なのか心配で不安の気持ちでいっぱ ら「ヘルニア」で精密検査が必要、場合によっては手術だと言 ても辛いのはわかります。すぐに近くの獣医科で診てもらっ の方を悲しそうな目で見て「クーンクーン。」と鳴くので、 の言いたいことを理解するのは難しかったです。でもむぎが私 いてとても心配になりました。言葉でしゃべれないので、むぎ 丈夫かと思っていました。でも今回は、本当につらそうで見て もこのようなことがありましたが、すぐに元気になったので大 る座布団の上に寝てあまり動かなくなってしまいました。 日楽しく過ごしてきました。しかしある日から、リビングにあ アイドルです。その日から今まで、ずっと病気も怪我もなく毎 れ が飼っているダックスフンドで彼女の名前は「こむぎ。」生後 家族は帰宅すると誰よりも先にむぎの所へ行く、我が家の 「むぎが歩けなくなる?むぎが死んじゃうかも。」と私が絶 島田の病院を紹介され、すぐに連れて行きました。 私の家にやってきました。皆から「むぎ」と呼ば 前に P

> ました。」と連絡が入り私は、ほっとしました。 たり来たり、とてもそわそわしていました。そんな中「成功し 留守番だった私は、手術が無事に終わるまで不安で家の中を行っ はり手術になり、 「成功してよかった。」と思いました。 その日の夕方緊急手術をしてもらいました。 心の底から

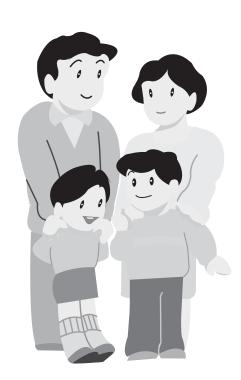
ていませんでした。 れと言ってるように聞こえました。その存在がいないため、 出来ないけれど、むぎは私の気持ちを分かってくれ、 辛い時も、いつもむぎは私の心をいやしてくれました。 ぎを見て私は涙が出るほど嬉しかったです 気にしっぽを振り、自分で歩いて私の所に来ました。そんなた か心配だったけれど、それは一瞬で吹き飛びました。 ると心の底から嬉しかったです。どれ位歩けるようになってろ てくれるむぎがいないのは、こんなにも淋しいものだと想像し ても淋しい毎日が続きました。私が帰宅してもおかえりと迎え した。むぎが家に帰ってこられるまで約二週間程。 しかしここからが、私にとって辛くて淋しい毎日の始まりで 十日程経ち退院になりました。 やっと会え 悲しい時 むぎは元 私に頑張 会話は

れているんだと思いました。家族の一員になってから五年、 ないとどれだけ淋しいか気づかされました。そしていつも一緒 ぎはいて当たり前の存在になっていたけれど、 した。むぎは毎日、 私はこの経験を通して、むぎの存在の大きさに気づかされ 私だけでなく家族みんなの心をいやしてく 今回のことでい

\$\text{\$\tex{\$\text{\$\e

るこむぎをこれからも大切にし感謝したいです。思うとその命は、とても尊いとわかりました。家族の一員であました。むぎの存在が自分にこんなにも大きく影響していたと

にいてくれ「ありがとう。」と感謝の気持ちでいっぱいになり



\$\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table{\table}\table}\table{\table}\table \table \